

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年 記念

# 前進座特別公演

渡辺 善則作  
河原崎 國太郎・川名 あき 演出

# 花ごぶし

親鸞聖人と恵信尼さま



平安末期から鎌倉時代へ…。世の中は天災・飢饉・疫病の上に戦乱が続き、末法思想に覆われていました。法然上人と共に、救いを求めるすべての人々を救わんと「南無阿弥陀仏」のお念仏を広めた親鸞聖人。そして、親鸞聖人と堅い絆で結ばれた、妻・恵信尼は、親鸞聖人を支え、伴走した、自立した一人の人間として、その波乱万丈の生涯を送られました。

一九二一年に発見された、末娘・覚信尼と交わした十通の手紙「恵信尼消息」を頼りに、妻・恵信尼の視点で、夫として家族としての親鸞聖人の姿を描きます。  
そして、戦争や気候危機・格差社会など、混迷する現代を生きる私たちに、その先を照らす、「希望」をお届けいたします。



上滝 啓太郎



渡会 元之



早瀬 栄之丞



北澤 知奈美



江林 智施



浜名 実貴



嵐 芳三郎



藤川 矢之輔



石嶋 隆生



中野 里咲



松川 悠子



有田 佳代



新村 宗二郎

装置：佐々波 雅子  
照明：桜井 真澄  
音楽：児島 明日香  
効果：横山 あさひ

## ものがたり

建仁元（一一〇二）年、比叡山で修行する若き僧範宴（のちの親鸞）と筑前（のちに親鸞の妻となる恵信）のお二人の出会いから物語は始まります。

やがて六角堂で観音菩薩の夢のお告げを得た範宴は、法然上人を訪ね、共にお念仏を広める道を歩み始めます。僧として初めて結婚し、より深く力強く歩みを進めた親鸞聖人ですが、時の権力者から弾圧を受け、越後へと流罪に…。

越後でもお念仏を広め続けた親鸞聖人と恵信尼は、罪が赦された後は関東（東へ移り、稲田の里（茨城）を拠点に約二十年の間、民百姓の中で救いの道を説かれます。時には近在の家族のもめごとを持ち込まれ、また時には、筑波山の山伏から立ち退きを迫られ…。やがて次第に、多くの人々にお念仏は広まっていきました。

いったん京都の都へと戻られたお二人でしたが、病に臥せる故郷の長女を支えるために、恵信尼は越後へと向かい、夫婦別れ別れになります…。

※チケットのお申込み・お問合せは、所属ご寺院まで。

■ お申込み者⇒ご寺院申込み ■ 新規 or 追加

所属寺院			
フリガナ			
お名前			
お電話			
ご住所	〒		
ご観劇日	6/30(日) 14:00開演 下関市民会館	枚数	枚

2024年 6月30日(日) 14:00開演(13:30開場)

## 下関市民会館 大ホール

◆下関駅より徒歩8分  
〒750-0025 山口県下関市竹崎町四丁目5番1号

【ご観劇料金】 5,000円 **全席自由席**

【チケット取扱い】

浄土真宗本願寺派山口教区有志ご寺院  
下関市民会館(TEL:083-231-6401)

【お問合せ】

前進座全国公演事務所 TEL:0422-49-2633

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町2-4-3-303